

札幌市内における犯罪情勢

1 犯罪の定義

罪刑法定主義の原理により、予め法律により定められている禁止する内容に該当して、違法かつ有責な行為。

(1) 禁止する内容（構成要件）

ある行為を抽象的に類型したもの（犯罪類型）。

(2) 違法性

正当防衛や緊急避難等の法益の侵害に該当しないこと。

(3) 有責性

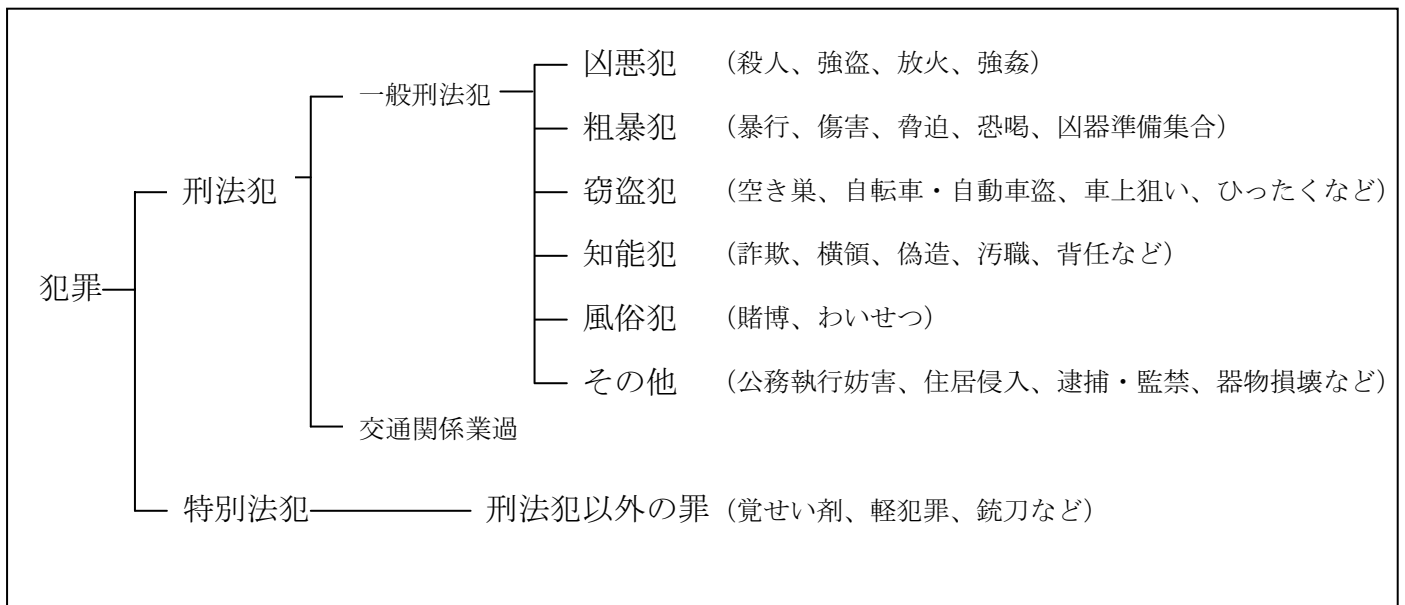
ある行為を、非難することができる可能性（行為者の善悪の判断能力）があること。

2 統計上の分類

犯罪は、刑法に規定された「**刑法犯**」（道路上の交通事故における業務上過失致死傷罪及び重過失致死傷罪を除いたものを「**一般刑法犯**」としている。）と、それ以外の法律に規定された「**特別法犯**」に分類される。

また、「**一般刑法犯**」は、下図のとおり包括的に6罪種に分類される。

■ 図-1



3 全国の犯罪情勢

(1) 一般刑法犯認知件数の推移

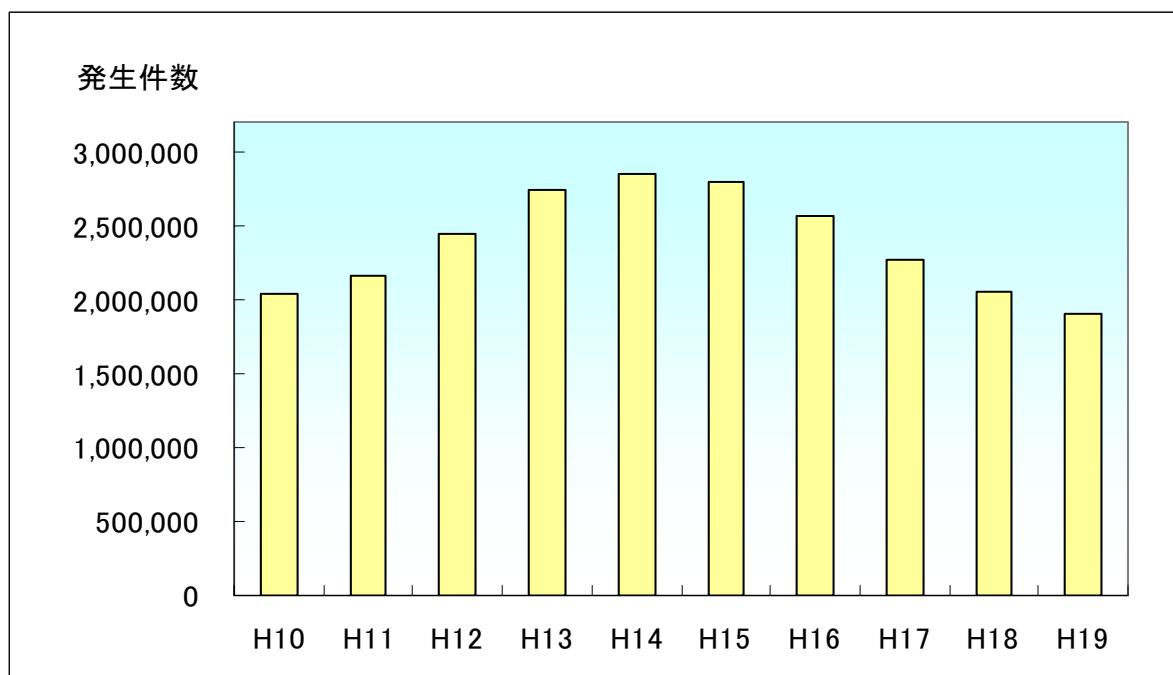
平成 14 年に認知件数のピークを迎えその後は減少傾向にある。

■表-1

(単位：件)

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
全国	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836

■図-2



(2) 罪種別の割合

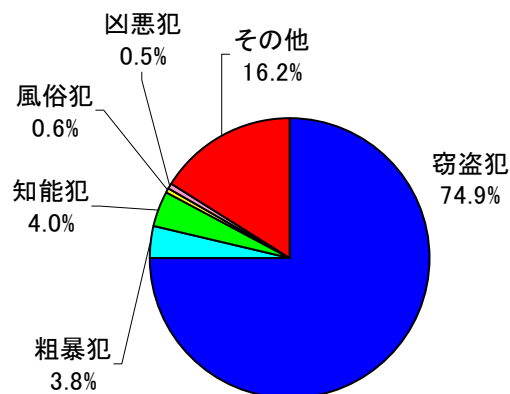
窃盗犯が全体の約 3/4 を占めており、他の罪種よりも圧倒的に多い状況である。

■表-2

(単位：件)

	窃盗犯	知能犯	粗暴犯	風俗犯	凶悪犯	その他
全国	1,429,956	75,999	72,908	11,184	9,051	309,738

■図-3



4 北海道及び札幌市の犯罪情勢

(1) 一般刑法犯認知件数の推移

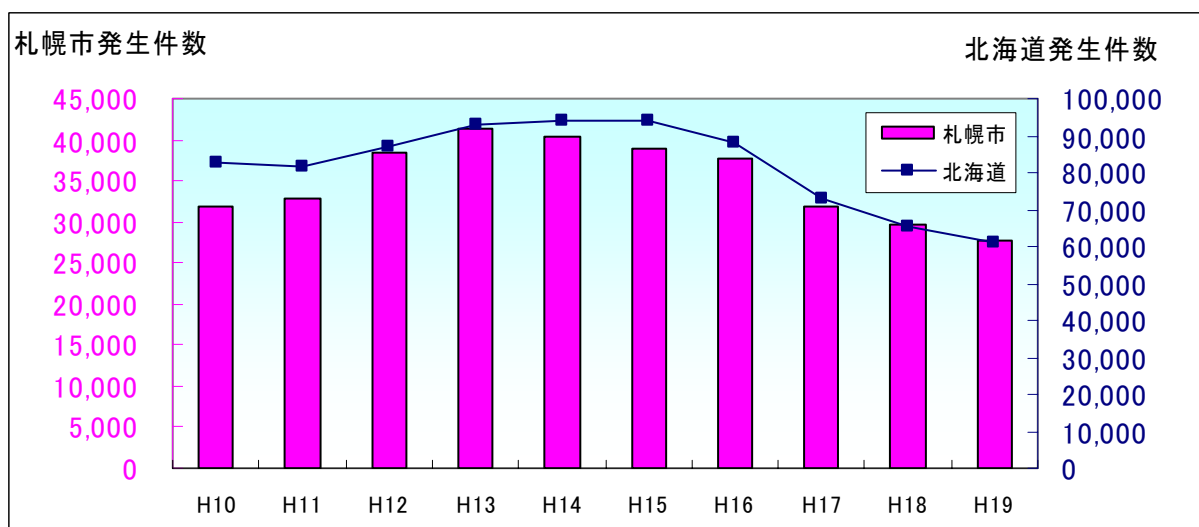
北海道は全国と同じ平成 14 年に、札幌市はその前年の平成 13 年に認知件数のピークを迎え、その後は減少傾向にあり、平成 18 年には市内の認知件数が 29,738 件と 3 万件を下回った。

■表 - 3

(単位：件)

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
北海道	82,688	81,820	86,786	92,832	94,091	93,863	88,249	73,071	65,417	60,880
札幌市	31,967	32,787	38,533	41,290	40,472	38,861	37,637	31,929	29,738	27,840

■図- 4



(2) 罪種別の割合 (平成 19 年)

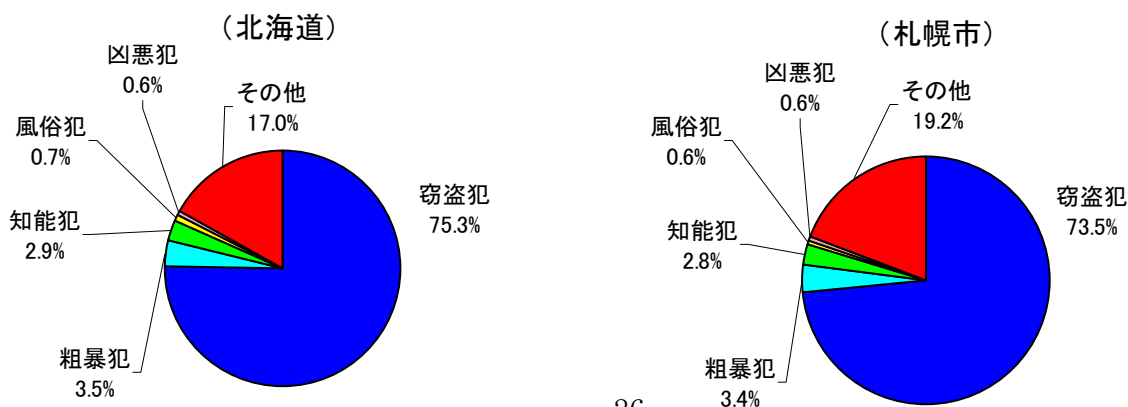
全国と同様の傾向で、窃盗犯が全体の約 3/4 を占めており、他の罪種よりも圧倒的に多い状況である。

■表- 4

(単位：件)

	窃盗犯	粗暴犯	知能犯	風俗犯	凶悪犯	その他
北海道	45,847	2,145	1,786	411	348	10,343
札幌市	20,453	946	774	178	155	5,334

■図- 5



(3) 札幌市内における罪種別犯罪の認知件数の推移

一般刑法犯認知件数の減少傾向は、以下の罪種別犯罪の認知件数の推移のとおり、「窃盗犯」の減少によるものである。

また、全体に占める割合は少ないものの、「知能犯」は、平成13年以降増加傾向にあり、その当時より高い水準で推移している。

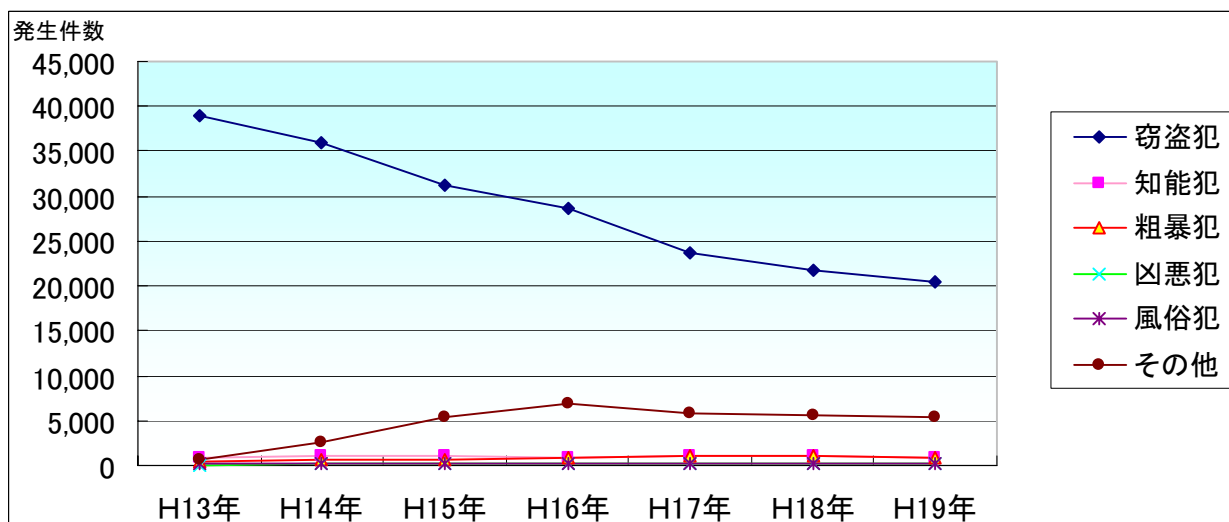
なお、「その他」の平成13年から15年にかけての増加は、「占有離脱物横領」の取り締まり強化によるものである。

■表-5

(単位：件)

		H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年
合 計		41,290	40,472	38,861	37,637	31,929	29,738	27,840
窃盗犯	件数	39,063	35,945	31,156	28,622	23,705	21,715	20,453
	割合	94.6%	88.8%	80.2%	76.0%	74.2%	73.0%	73.5%
粗暴犯	件数	933	1,042	1,119	919	1,050	1,009	946
	割合	2.3%	2.6%	2.9%	2.4%	3.3%	3.4%	3.4%
知能犯	件数	370	639	734	915	1,017	977	774
	割合	0.9%	1.6%	1.9%	2.4%	3.2%	3.3%	2.8%
風俗犯	件数	91	159	193	194	239	215	178
	割合	0.2%	0.4%	0.5%	0.5%	0.7%	0.7%	0.6%
凶悪犯	件数	150	151	209	181	188	183	155
	割合	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%
その他	件数	695	2,536	5,450	6,806	5,730	5,639	5,334
	割合	1.7%	6.3%	14.0%	18.1%	17.9%	19.0%	19.2%

■図-6



(4) 札幌市内における場所別の犯罪発生状況

「駐車場」、「道路上」、「都市公園」、「空地」は、市民が自由に利用でき、公共性が高い場所であり、札幌市において、平成 19 年中にこれらの場所で発生した犯罪は、11,327 件で一般刑法犯（27,840 件）の 40.7%を占めている。

また、最も安全性と安心感が求められる「住宅」を対象とする犯罪は、6,441 件で全体の 23.1%を占めている。

■表-6

(単位:件)

合計	路上				非路上			
	駐車場	道路上	都市公園	空地	店舗等	住宅	学校	その他
27,840	7,393	3,285	474	175	7,532	6,441	419	2,121

■図-6

